ときの玉手箱

～博物館からのメッセージ～

第248回

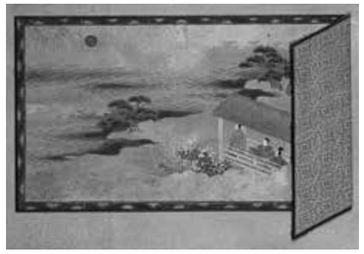
源氏物語の受容のかたち ―源氏八景手鑑―

世界最古の長編小説と言われる源氏物語。この長大な物語を最初から最後まで読み切った人は、一体どれだけいることでしょう。

源氏物語は、原文そのものだけでなく、様々な形で伝えられてきました。そのひとつに、ダイジェスト版があります。江戸時代の早い時期から版本が刊行され、文章だけでなく挿絵も添えられて広く読まれることとなりました。

これとは別に、朝廷周辺で作られ始めたと考えられる「源氏（物語）八景」というものがあります。これは、中国の「瀟湘八景」あるいはその影響を受けて成立した「近江八景」をもとに考えられたものです。

瀟湘八景とは、中国湖南省の風光明媚な地で、ここの八景は山水画の伝統的な画題として知られています。近江八景は、琵琶湖周辺の名所で、「唐崎の夜雨」「石山の秋月」「三井の晩鐘」「矢橋の帰帆」「比良の暮雪」「堅田の落雁」「粟津の晴嵐」「勢多（瀬田）の夕照」の八景です。本家の瀟湘八景同様、多くの画が作られてきました。



▲源氏八景手鑑　須磨の秋月

源氏八景は、源氏物語から瀟湘八景や近江八景と共通するような場面を選んだものです。すなわち、一箒木の夜雨」「須磨の秋月」「明石の晩鐘」「松風の帰帆」「朝顔の暮雪」「乙女の初雁」「玉蔓の晴嵐」「夕霧の夕照」の八景です。瀟湘八景や近江八景が地名を入れ込んでいるのに対し、源氏八景は、「玉蔓」や「夕霧」など、地名の部分を源氏物語の各帖の名としています。

この源氏八景は、文章だけを記した冊子本もあれば、文章（詞書）と画とを並べた絵巻物もあります。

「須磨の秋月」を例に、具体的に見てみましょう。主人公の源氏は、不本意ながらも都を出て須磨の地でわび住まいをしていました。八景の文章は、「源氏は、月が大変華やかに出ているのを見て、今宵は十五夜であったと気づき、十五夜の宮中での管弦の遊びを思い出してしみじみとした」という内容の原文をそのまま抜き書きしたものです。その画では、文章どおり、源氏が遠くに光る月を見やる姿があらわされています。なんとも情趣あふれる場面です。

さて、ここで紹介する「源氏八景手鑑」は、詞書はなく、画のみで構成された画帖です。各画面を御簾、屏風、襖障子、手鑑、硯箱、杉戸、巻物、掛幅に見立て、そこに源氏八景を描き込んだ洒落た構成になっています。しかも、金具や木枠、裂など、一部は実際の調度品の材料を使用するといった凝った意匠です。

この画帖を目にした時、まずは色々な調度品などが組み込まれていることに感心し、よくよく見ると襖の引き手が金属であったり杉戸の枠が木であったりすることに小さな驚きを抱き、それぞれが源氏物語のどの場面にあたるか考えを巡らすというように、幾通りにも楽しむことができます。しかもそのために、源氏物語をしっかりと知っておく必要はありません。

▲同　朝顔の暮雪

そう考えると、この画帖は、「ものの あわれ」を感じる物語そのものの世界とは少し距離を置き、知的ゲームの楽しみにも似た鑑賞法を提供してくれる作品と言えるでしょう。源氏物語の楽しみ方は実に色々あるということを教えてくれます。

（彦根城博物館学芸員　髙木文恵）

写真の作品は、常設展示「ほんものとの出会い」で、5月15日(月)まで展示します。（期間中無休）

博物館だより

彦根城博物館 ☎ 22-6100・FAX 22-6520
URL　http://hikone-castle-museum.jp/

開館時間　8：30～17：00（入館は 16：30 まで）

テーマ展

3月10日(金)～4月11日(火)

「直弼発見！大老・井伊直弼の職務」

井伊家 13 代直弼は安政 5 年 (1858) に江戸幕府の大老に就くと、幕閣のトップとして、政務の議論・判断、幕府行事への出席など、さまざまな職務に取り組みました。直弼が、日々江戸城で行っていた仕事を紹介します。

特別公開

4月14日(金)～5月16日(火)まで

「国宝・彦根屏風」

近世初期風俗画の傑作、国宝・彦根屏風を特別公開します。

▲風俗図（彦根屏風）

観覧料が必要

ギャラリートーク
4月15日(土)　11:00～11:30、14:00～14:30
※事前申込:不要　場所:講堂

常設展示の名品

― 常設展示の名品 ―

常設展示「"ほんもの"との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

"ほんもの"との出会い

4月13日(木)～6月21日(水)

湖東焼　金襴手捻文鉢

懐石の膾（なます）や酢の物を盛る鉢。外側に赤絵金彩で花唐草文を描き、内側に染付で花唐草文を描いています。作者の弥平は、湖東焼きっての名絵付師、鳴鳳（めいほう）と同一人物と考えられる人物です。

4月の休館日はありません。4月12日(水)～同13日(木)は展示替えのため一部閉室しています。

文化プラザだより

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター　☎27-5200（9:00～19:00）
インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

発売中の公演情報

5月5日(金・祝) 14:00　エコーホール

第8回エコーホールピアノメンバー演奏会 ア・ピアチェーレ!

今年で8回目となる、ひこね市文化プラザエコーホールピアノメンバーの登録メンバーによる演奏会。今回は 14 人のメンバーが日頃練習してきた成果を披露します。

海外製のフルコンサートピアノ、スタインウェイ 274 とベーゼンドルファー 275 を使い美しい音色を奏でます。ぜひお聞き下さい。

自由

【発売中】
一　般 500 円、友の会 450 円、
学生以下無料（入場券が必要）
※未就学児も入場できます。

5月25日(木) 10:15/13:00　メッセホール

ベビーといっしょにコンサート2017

毎年大好評のお母さんと赤ちゃんがいっしょに楽しめるコンサートの第3弾。今年は時間を分けての2回公演です。

童謡や季節の歌、合唱曲など幅広いジャンルでお届けします。手遊びなど交えながら気軽に楽しめる内容になっています。（それぞれの公演内容は同じです。）

出演：髙木充江（うたとおはなし）、山本哲子（うた）、今堀智子（ピアノ）、森有子（うさぎ）

自由

【発売中】
一　般 500 円、友の会 450 円、
当　日 700 円
※大人 1 人につき未就学児 2 人まで無料。

チケット販売について

【各公演 発売初日の予約の取り扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

◎表記のチケット価格は、すべて税込価格です。

4月の休館日　3日(月)、10日(月)、17日(月)、24日(月)